

報道各位

プレスリリース  
平成21年8月19日

東京都千代田区麹町3-2-4 麹町HFビル6F  
株式会社スリー・ディー・マトリックス  
代表取締役社長 高村 健太郎

東京都港区北青山2-5-1  
伊藤忠ケミカルフロンティア株式会社  
代表取締役社長 牧田 慎一郎

株式会社スリー・ディー・マトリックスと伊藤忠ケミカルフロンティア株式会社、  
スリー・ディー・マトリックスが開発中の止血材製品 TDM-621 に関し業務提携に合意

株式会社スリー・ディー・マトリックス（3DM、東京都千代田区、代表取締役社長：高村 健太郎）と伊藤忠ケミカルフロンティア株式会社（ICF、東京都港区、代表取締役社長：牧田 慎一郎）は、3DM が開発中の自己組織化ペプチド「PuraMatrix™」を原料とした外科用止血材製品（開発コード：TDM-621）に関し、業務提携を行うことで合意致しました。

3DM は、医療に貢献するメディカルテクノロジーカンパニーを目指しており、米国マサチューセッツ工科大学より取得した自己組織化ペプチド技術群の全世界独占実施権を基盤技術として、ペプチドを原料とした医療用マテリアルを医療機器として開発しております。

このたびの両社の提携は、3DM が自己組織化ペプチド技術を応用して開発した外科用止血材製品に関し、原末のグローバル調達及び製品の物流を 3DM が ICF に委託し、ICF がその支援を行うものです。3DM では、医薬関連分野において実績、ノウハウなどを有する ICF の支援を受けることで、製品販売開始後の供給体制の強化を図れると期待しております。なお、ICF は第三者割り当てによる 3DM の増資を引き受け、本業務提携をより一層強固にします。

外科用止血材 TDM-621 は、人体の構成成分である 3 種のアミノ酸から成るペプチドを原料とした透明な液体で、血液に触れると瞬時にハイドロゲルを形成する特性（自己組織化）により、血管を物理的に塞いで止血を行うもので、外科手術全般への使用が対象となります。

ペプチド原末は完全化学合成により GMP 製造が可能で、両社は専門メーカー複数への委託製造を前提に準備を進めております。また、最終製品はプレフィルドシリンジ製品（注射器に水溶液が充填されている）とする計画ですが、充填ラインを有する専門メーカーと試作を開始しております。

本製品は現在、3DM が医療機器としての開発を進めており、2011 年度から特定保険医療材料としての適用を受けて販売を開始する計画です。両社は、本製品の安全性およびユニークな製品特性を活かし、外科用止血材として確固たる製品ポジションを獲得することを目指しており、両社の本件提携によって、販売に先立つ製造・供給体制の確立に向け協力し推進にあたりたい所存です。

#### 伊藤忠ケミカルフロンティア株式会社

伊藤忠ケミカルフロンティアは、伊藤忠グループの一員として、医薬品、ファインケミカル、樹脂原料等の広範な化学品の輸出入、製造、委託加工及び、それらの仲介斡旋等のビジネスを通して、人々の健康や文化生活を維持・増進するという使命を担っています。

代表者：牧田 慎一郎

所在地：東京都港区北青山 2 - 5 - 1

設立：1971 年 9 月

事業内容：医薬品、ファインケミカル、樹脂原料等の輸出入、製造、委託加工等

URL：<http://www.itcchem.co.jp>

#### 株式会社スリー・ディー・マトリックス

スリー・ディー・マトリックスは、米国マサチューセッツ工科大学より取得した自己組織化ペプチド技術群の全世界独占実施権を基盤技術として、ペプチドを原料としたマテリアルを医療機器として開発し医療に貢献するメディカルテクノロジーカンパニーを目指しております。同社は日米で 100 以上の医療機関と自己組織化ペプチドを応用する共同研究を行っており、止血材をはじめとした外科領域、細胞培養の足場素材としての再生医療領域、またペプチドを担体として活用するドラッグデリバリー領域において、新しい応用技術を開発しております。

代表者：永野恵嗣・高村健太郎

所在地：東京都千代田区麹町 3 - 2 - 4 麹町 HF ビル 6F

設立：2004 年 5 月

事業内容：自己組織化ペプチド技術を応用した医療機器開発

URL：<http://www.3d-matrix.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社スリー・ディー・マトリックス

取締役 岡田 淳、管理部 新井 友行

Tel : 03-3511-3440

E-mail : [info@3d-matrix.co.jp](mailto:info@3d-matrix.co.jp)